

調査の概要

1 目的

県内小・中学校、義務教育学校及び高等学校の児童生徒を対象に、新体力テスト及び身体計測を実施し、児童生徒の発育及び体力・運動能力の現状を明らかにするとともに、行政上の基礎資料を得る。

2 調査の実施時期

令和6(2024)年4月～7月

3 主催

栃木県教育委員会

4 調査の対象

県内全ての公立小・中学校、義務教育学校及び県立高等学校（全日制・定時制）の児童生徒

【実施人数】

	小学校	中学校	高等学校		計
			全日制	定時制	
児童生徒数	88,466人	45,766人	31,549人	898人	166,679人

5 調査の内容

○実技テスト調査

スポーツ庁「新体力テスト実施要項」に基づき実施

※なお、中学・高等学校で選択種目となる持久走と20mシャトルランは、後者のみを対象

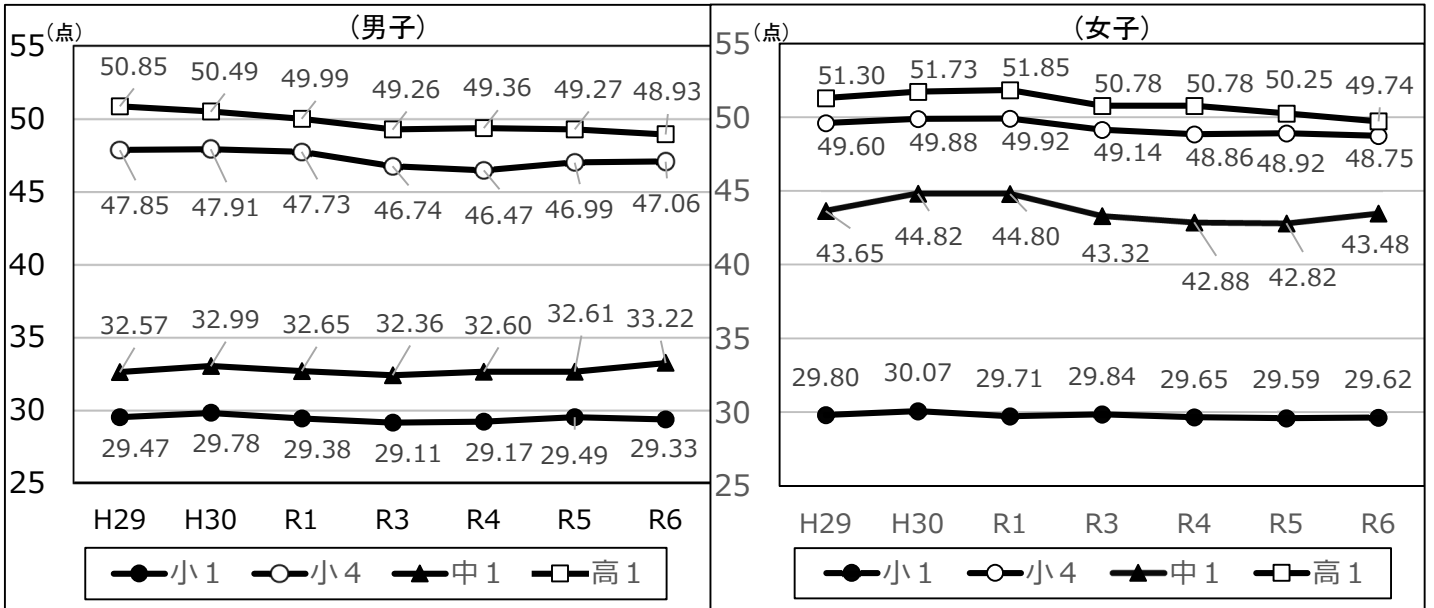
○質問紙調査

スポーツ庁「質問紙調査」から県が指定した質問に回答

調査結果の概要

1 体力合計点の状況

男女とも、令和5(2023)年度と比較するとわずかな増減は見られるものの、近年はほぼ横ばいである。



※H29より悉皆調査実施、令和2年度は未実施

2 実技テスト種目別の状況

※調査実施10年間(平成25(2013)年~令和5(2023)年度)の平均値と令和6(2024)年度の比較

- ・今年度は、延べ73種目で過去10年間の平均を上回った。(昨年度:57種目)
- ・男子は、長座体前屈、立ち幅とびにおいて、過去の平均値を上回る学年が多かった。年代別では、中学生が多く種目で上回った。
- ・女子は、長座体前屈において、過去の平均値を上回る学年が多かった。

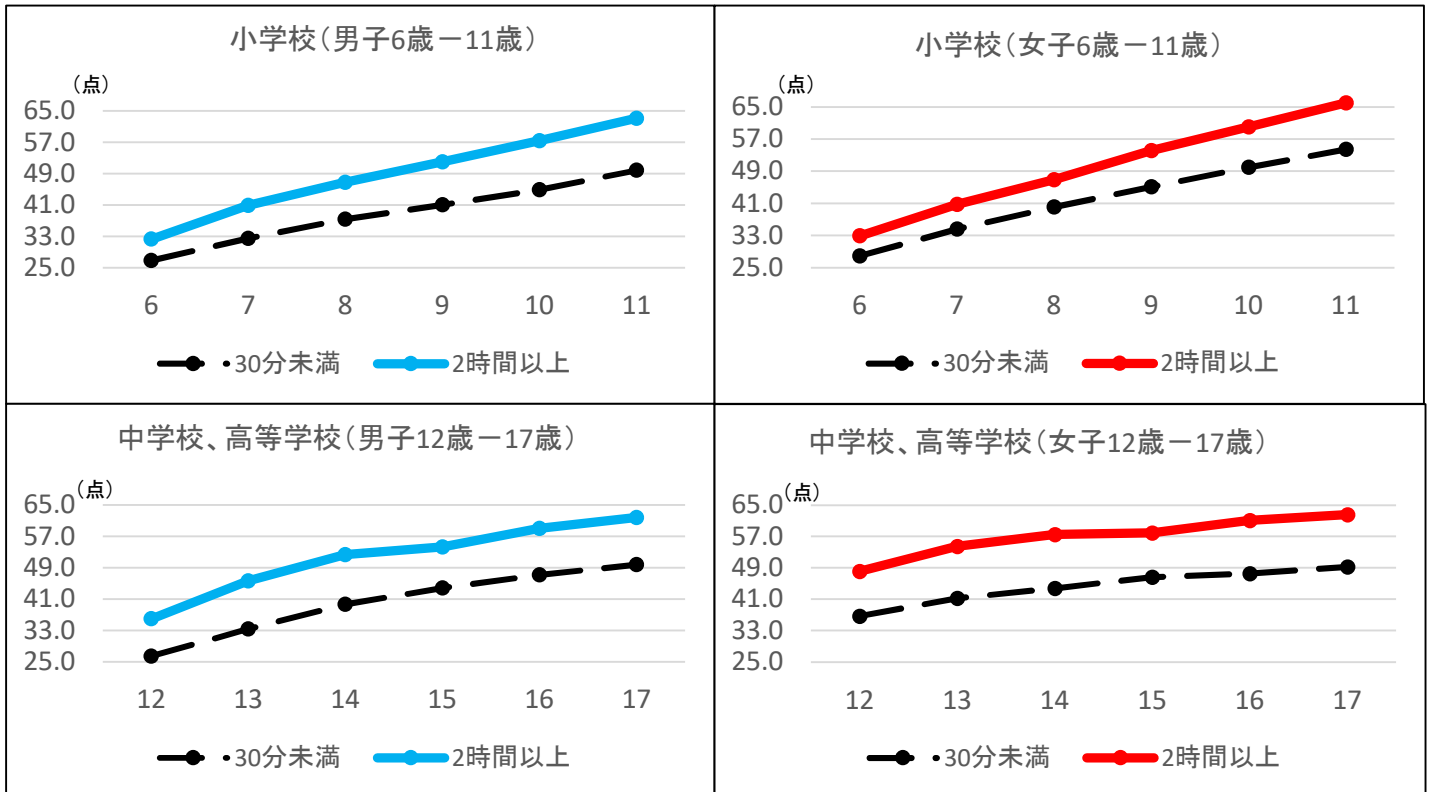
性別	種目	小学校						中学校			高等学校(全日制)			高等学校(定時制)			
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	高1	高2	高3	高4
		6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	15歳	16歳	17歳	18歳
男子	握力							○	○	○							
	上体起こし				○												
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○
	反復横とび							○		○						○	○
	20mシャトルラン		○														
	50m走								○	○		○					
	立ち幅とび		○					○	○	○	○	○	○	○		○	
	ボール投げ							○	○	○							
	体力合計点							○	○	○							
女子	握力																
	上体起こし				○												○
	長座体前屈	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	
	反復横とび							○		○	○	○	○		○		○
	20mシャトルラン																○
	50m走																○
	立ち幅とび	○						○		○		○	○			○	○
	ボール投げ																
	体力合計点																○

○・・・過去10年間の平均値を今年度の平均値が上回った種目

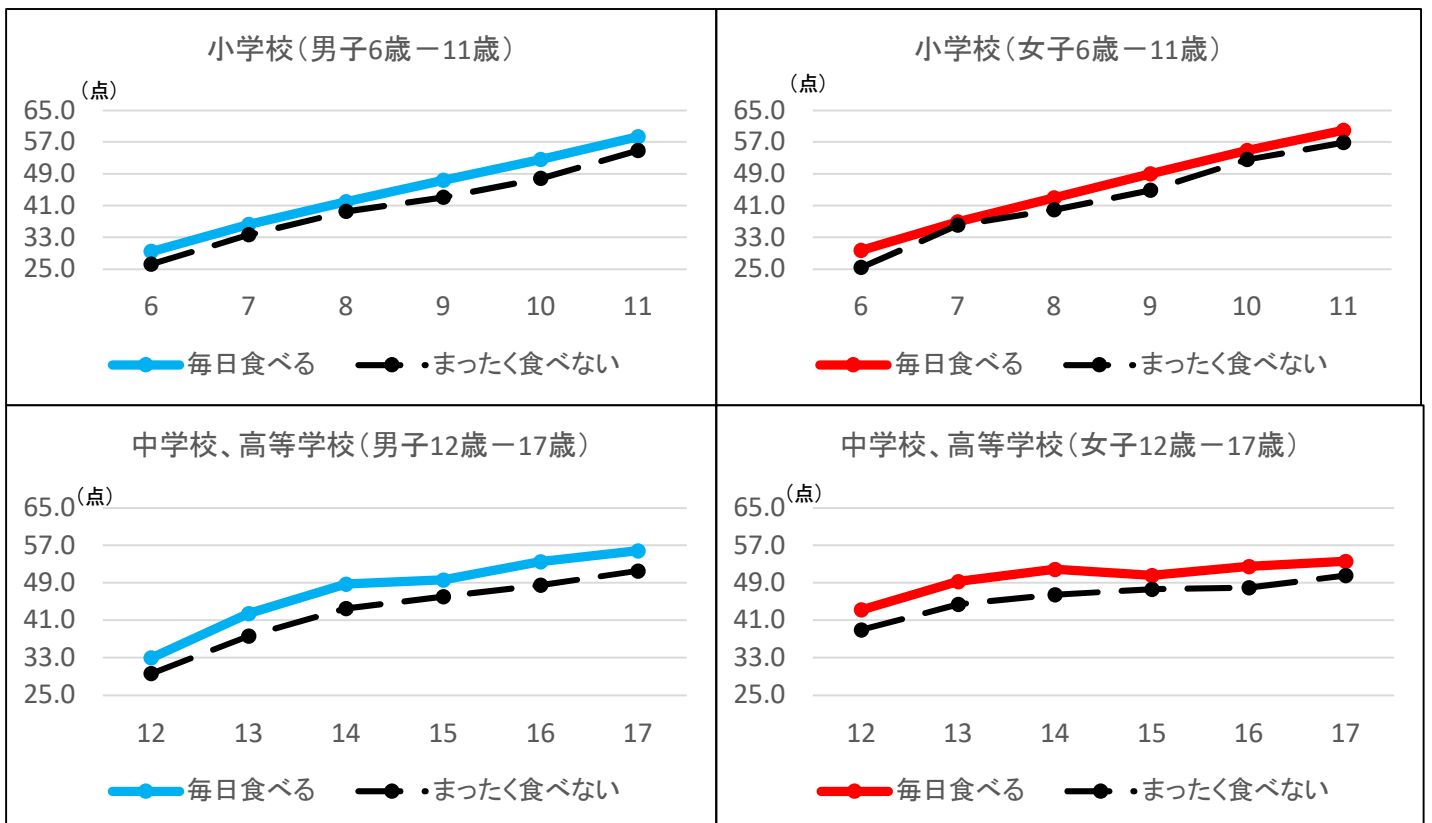
3 質問紙調査と体力合計点の関連

- ・1日の運動・スポーツの実施時間が長い児童生徒は体力合計点が高い傾向にある。
- ・毎日朝食を食べる児童生徒は体力合計点が高い傾向にある。
- ・1日の睡眠時間について、小学校では、睡眠時間が6時間以上の児童の体力合計点がやや高い傾向にある。中学校、高等学校では、睡眠時間が8時間未満の生徒の体力合計点がやや高い傾向にある。
- ・1日のスクリーンタイムが短い児童生徒は体力合計点が高い傾向にある。

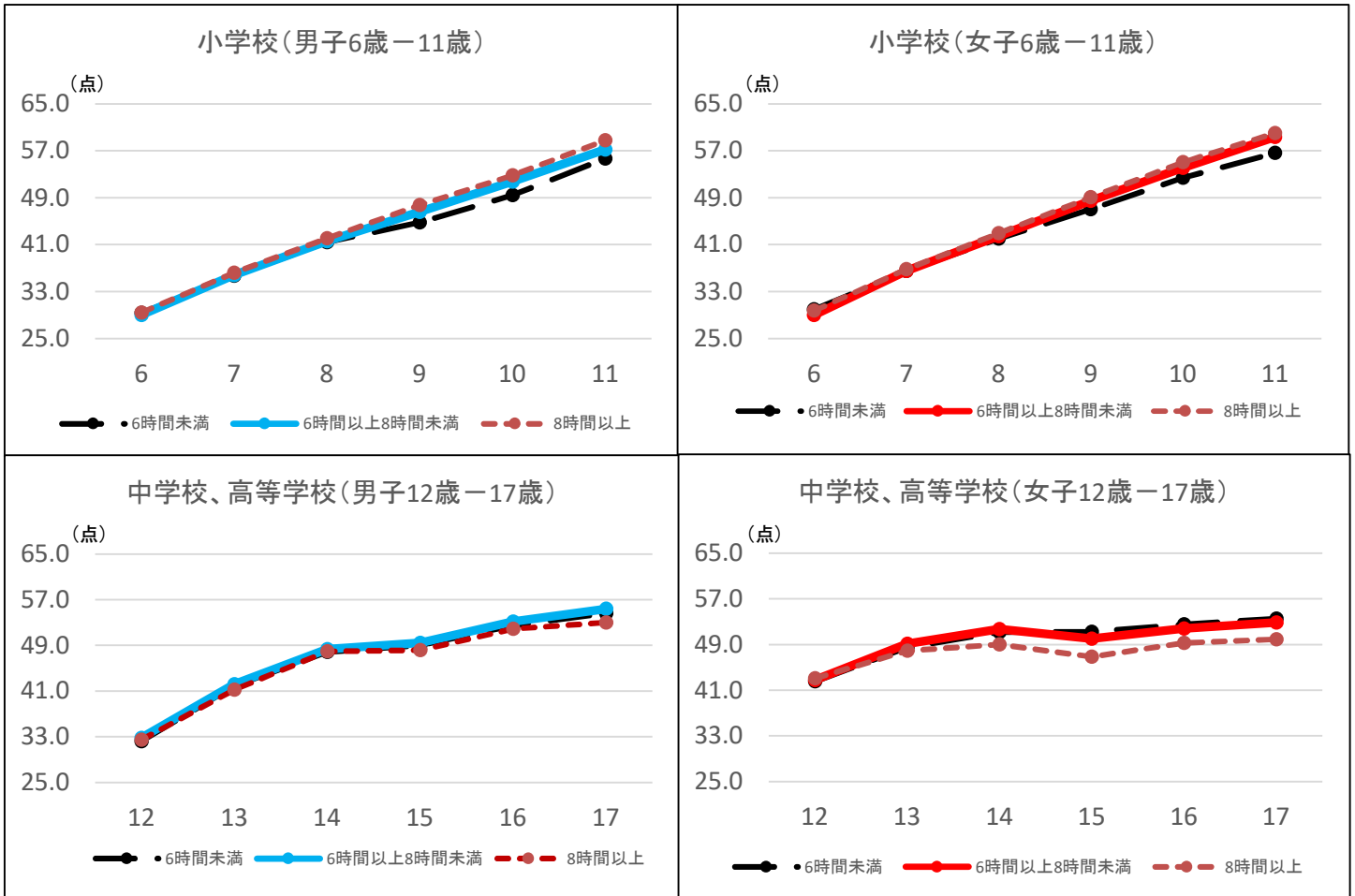
(1) 運動・スポーツ実施時間と体力との関連



(2) 朝食と体力との関連



(3) 睡眠時間と体力との関連



(4) スクリーンタイムと体力との関連

